

宮城舞台技術者協会 令和8年度 第1回理事会 議事録

日時	2026 年 1 月 14 日 10 時 30 分 ～ 11 時 40 分	場所	株式会社東北共立 ミーティングルーム
議 題	・ 2月総会開催内容について 会場、開催時間の決定をする 令和8年度の事業活動案、予算案決定する		

出席者	岸浪行雄	田嶋克彦	橋本徳郎	石井忍
	関紀子			
	伊藤幸夫（事務局長）	小林道子（事務局）	斎藤環江（事務局）	
	理事、監事、事務局 8名			

決定事項	●令和8年度事業活動（案）について 年5回のサロンの内容：3回は、各部会活動、2回は、セミナー、教育等実施を総会に諮る
	●令和8年度予算（案）について 令和7年度と同様の内容で総会に諮る
	●総会開催場所、開催時間について 2/16 仙台サンブラザホテル 1階 パール 12:30～13:30 食事、13:30～総会（会場は、12:00～15:00までお借りする） 理事は、12時集合（理事会を開催します。総会の打ち合わせ等）

議
事
内
容

■ 2月総会開催内容について

◎令和7年度の事業活動報告、並びに収支報告書を理事会にて承認いただく

◎開催日：2/16（12月理事会にて決定済み）

開催場所をどうするか？

→ より多くの会員に集まってほしい！

→ 総会の後に、コーヒーでもどうでしょうか？ 15時頃まで？ 会場押さえ何時まで？

→ 昼食付きの総会はどうだろうか？ 会場押さえも3時間程度で済むのでは？

◎開催場所：仙台サンブラザホテルまたは、東北共立様ラボラトリー

→ 事務局長が確認の上、決定する

→ **仙台サンブラザホテル 1階 パール（決定事項）**

■ 令和8年度事業活動について

◎各部会の開催月を決定し、部会の開催に繋げる（12月理事会より）

照明部会 → 5月開催希望「Art for Kids わくわくパビリオン2026」

音響部会 → 8月後半開催希望「AED講習会」

舞台部会 → 一旦持ち帰り → **12月開催希望「綱場勉強会 vol.2」**

■ その他

◎報告：金属回収事業について 288kg、8,930円 12/17に八戸市に寄付

サロン企画提案書			
	2026 年度	宮城舞台技術者協会 音響部会	音響部会 関紀子

◆件名

AED 等の安全講習会の開催の提案

◆案件詳細

「AED 講習会」や「安全講習会」などを専門家の指導のもと受講したい。

◆提案の背景

近年イベントなどの現場でのヒヤリハットの報告があがっている事をニュースや WEB 上 SNSなどで目にする機会が増えたように感じます。
物理的な機材等を伴う事故から熱中症や個人の持病等から発生する病気を伴う事故や
演者等に対しての暴力を伴う事故(事件)、自然災害によるトラブルなど
多種多様に感じています。
その様な場面に遭遇した場合、自身の身の安全を確保する事が最優先ですが、
自分の手助けで何かの状況が良い方向に進んだり、専門の方の邪魔にならない
行動が出来る知識が少しでもあれば心強いかな？
と思い「安全講習会」を企画したいと提案に至りました。

◆課題および提案

消防署等の公共主催の講習会などを利用して指導頂く機会をみつける。

講習会を受けられない場合 WEB 等で知識を得る。

「総務省消防庁 応急手当 web 講習」e ラーニング等を活用してください。

*他に参考資料等ございましたらご教授下さい。

宮城舞台技術者協会
会長 岸浪 行雄 様
事務局 御中

照明部会長
菊地 孝

日頃より大変お世話になっており、心より御礼申し上げます。
さて、この度、宮城舞台技術者協会 照明部会主催による令和 8 年度事業として、下記の内容にて事業を進めて参りたく存じます。
何卒ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 8 年度 事業計画書(宮城舞台技術者協会 照明部会)

1. 事業名

Art for Kids わくわくパビリオン(名取市文化会館 全館を使用した劇場主催イベント)

2. 主催

公益財団法人 名取市文化振興財団

3. 協力・運営

宮城舞台技術者協会(照明部会 主催・運営取りまとめ)

4. 開催日程

- 2025 年 5 月 1 日(木) 仕込み
 - 2025 年 5 月 2 日(金) 本番
 - 2025 年 5 月 3 日(土) 本番～バラシ
-

5. 当協会の担当・協力場所

名取市文化会館 大ホール

6. 事業概要

本事業は、宮城舞台技術者協会の会員が持つ専門知識や経験を活かした工夫や演出を通じて、「舞台の裏方が主役」となり、来場者と直接触れ合う体験型企画として実施します。
舞台技術者が日常的に担っている役割や仕事の魅力を、子どもから大人まで分かりやすく伝えることで、舞台芸術・エンターテインメントへの理解促進を図ります。

7. 参加条件

- 宮城舞台技術者協会 会員
- 会員企業に所属する従業員
※照明部会主催ではありますが、企画内容上、各部門の専門家の協力が不可欠なため、運営は照明部会が取りまとめ、参加対象は上記の通りとします。
- 宮城県内の専門学校等で舞台技術を学ぶ学生（各教育機関へ募集要項を送付予定）

※本事業は**社会貢献活動**として位置づけ、
参加スタッフへの報酬は発生いたしません。

8. 協力を依頼する内容

- 専門的視点を活かした企画・演出アイデアの提案
 - 当日の来場者対応および体験型コーナーへの参加
 - ゴールデンウィーク期間中の開催となるため、
当日参加が難しい場合でも、事前のアイデア会議への参加のみでも可
 - 全日程を通しての参加が難しい場合でも、部分的な参加可
-

9. 本事業における協会参加の意義

- 既存イベントへの協力形式のため、新たな予算負担がほとんど発生しない
（事前会議会場等は劇場側にて手配予定）
 - 未就学児～小学生を中心としたファミリー層への周知・PR が可能
※前年度の反省を踏まえ、高学年～中学生も参加しやすい内容を検討
 - 協会が掲げる地域社会への貢献方針に沿った活動である
 - 協会公式ウェブサイトや SNS を通じ、
参加会員の氏名・役割を明記した報告を行い、
会員一人ひとりの貢献を広く発信できる
-

10. 2025 年度 実施実績および評価

2025 年度は、『Art for Kids @ なとり わくわくパビリオン』の一企画として、
『舞台 de あそぼう！～おいでよ ホールの裏側へ～』を実施しました。

本事業は2日間で**延べ1,538名**の来場者を迎え、舞台技術者が主役となり来場者と直接触れ合う体験型企画として、高い評価を得ることができました。

会員・関係者が連携し、事前会議を含めた準備を重ねることで、安全かつ円滑な運営体制を構築できた点も、本事業の成果の一つと考えています。

11. 令和8年度 事業計画の展望と狙い

【展望】

2025 年度の実施内容および運営実績を踏まえ、企画内容をさらにブラッシュアップし、年齢層に応じた体験内容の充実や演出面の工夫を行います。
併せて、会員および関係者が参加しやすい体制づくりを進め、可能な限り参加協力者を増やすことで、協会事業としての広がりと継続性を高めていくことを目指します。

【狙い】

舞台芸術・エンターテインメントの発展は、舞台技術者をはじめとする“裏方”の存在なくして成り立ちません。
本事業を通じて、普段は表に出ることの少ない舞台技術の仕事に光を当て、次世代を担う子どもや若い世代に、舞台づくりの素晴らしさややりがいを伝えることを狙いとしています。
これにより、将来の人材育成および業界全体の発展に寄与することを目的とします。

以上

「綱場勉強会」に関する意見交換会報告書

昨年12月25日に東北共立様ミーティングルームにて「綱場勉強会」に関する意見交換会を実施いたしました。参加者は山品晃彦さん、今野芳明さん、菊地孝さん、斎藤豊寿さん、関紀子さん、伊藤幸夫さん、小林道子、石井忍の8名でした。最大の懸案事項である「自己流の綱場操作技術を他者に伝えて良いのか？」にどう対処するかを中心に多岐にわたる意見が出され、有意義な時間を持てたと思います。以下に要点を箇条書きに致します。

- ※ 自己流ではない正式な操作方法を然るべき方からお聞きする。作業現場の実情に合わない点も多々有るだろうが、まずは基本をお聞きして協会員や参加者の皆さんと共有することから始める。
- ※ 講師の候補者としては機構業者様や照明家協会の寺田航様あるいは寺田様ご推薦の方が良いのではないかと。
- ※ 綱場の構造の解説や事故例等を模型や画像を交えてお話頂ける事、Q&Aでの様々な質問に答えて頂ける事を期待したい。
- ※ 基本のお話を聞いた上で、第2部として作業現場の実際を座談会と実演形式で行いたい。あくまで基本を踏まえた上で。
- ※ パネラーとして大道具、照明、劇場管理の御三方を迎えたい。
- ※ 綱場操作の実演時に参加者を綱場の周りに集めるのか、あるいはライブカメラで映写して客席で見ってもらうのか？ 参加者の満足と怪我と保険に関わる。と同時にカメラマン人件費、映像機材費に関しても今後要検討。
- ※ 勉強会の対象者は今のところ制限せず、協会員・舞台技術関係者・学生・財団事務職員・看板業者・高校演劇部顧問・一般人等を想定しているが、会場の収容量等で要検討。参加費との兼ね合いもポイントか。
- ※ 会場は手引きのSUSがあるトークネットホール仙台か、標準的な日立システムズホール仙台シアターホールが候補か。
- ※ 開催時期は4月～6月の平日が良いかと思われるが、照明家協会様による安全講習会との共催も検討。
- ※ 今後の検討課題
 - ・講師の選定と依頼
 - ・日程の決定と会場手配
 - ・経費（会館使用料、講師の交通費・謝礼・宿泊費？、イベント保険料、映像関係費 他）
 - ・参加費の設定
 - ・告知方法

以上になります。

まだまだ検討課題がありますが、今回参加して下さった皆さんのお話を伺いながら、仲間を一人失った我々が舞台に関わる人々の安全に資する企画を実施することの意義は極めて大きいと改めて思いました。
引き続き宜しくお願い致します。

2026年1月4日

宮城舞台技術者協会 舞台部会 石井 忍